

## 主要な経営指標等の推移（単体）

### 最近5事業年度に係る主要な経営指標等の推移

（単位：百万円）

決算年月	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
経常収益	67,404	66,417	67,070	68,809	68,273
業務純益	13,441	14,171	15,447	14,414	13,491
経常利益	3,185	4,138	9,847	14,565	16,207
当期純利益	16,539	3,717	5,927	11,245	22,305
資本金	38,971	38,971	38,971	38,971	38,971
発行済株式総数（千株）	1,467,196	1,467,196	1,467,196	1,467,196	1,827,196
普通株式	1,347,196	1,347,196	1,347,196	1,347,196	1,827,196
第一回優先株式	120,000	120,000	120,000	120,000	/
純資産額	120,648	114,809	117,010	126,962	141,386
総資産額	3,659,282	3,545,229	3,619,772	3,557,218	3,520,344
預金残高	3,236,120	3,250,253	3,285,969	3,257,652	3,213,127
貸出金残高	2,458,941	2,556,928	2,555,791	2,474,100	2,435,658
有価証券残高	956,741	822,727	793,362	779,921	581,202
1株当たり純資産額（円）	44.71	40.38	42.01	49.40	77.37
1株当たり配当額（円）					
普通株式	9.00	6.50	2.85	5.70	0.02
第一回優先株式	6.80	6.80	6.80	6.80	/
1株当たり当期純利益金額	11.67	2.15	3.79	7.74	12.20
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額（円）	9.05	2.03	3.24	6.15	—
単体自己資本比率（国内基準）（%）	12.70	12.69	12.29	9.97	10.21
配当性向（%）	78.24	257.53	78.53	75.53	0.16
従業員数（人）	2,231	2,173	2,137	2,115	2,127
〔外、平均臨時従業員数〕	[903]	[864]	[881]	[908]	[927]
総資産経常利益率（%）	0.09	0.11	0.27	0.40	0.46
総資産当期純利益率（%）	0.47	0.10	0.16	0.31	0.63
純資産経常利益率（%）	4.33	5.75	16.15	22.12	12.07
純資産当期純利益率（%）	28.76	5.02	9.14	16.77	16.62

（注）1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」（以下、「1株当たり情報」という。）の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 2013年9月13日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 2013年9月13日）を適用しております。

3. 2016年3月期の「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当社は国内基準を採用しており、2014年3月期からパーゼル3を適用しております。

5. 従業員数は、就業人員数を表示しております。

6. 総資産経常（当期純）利益率 =  $\frac{\text{経常（当期純）利益}}{\text{総資産（除く支払承諾見返）平均残高}} \times 100$

純資産経常（当期純）利益率 =  $\frac{\text{普通株式に係る経常（当期純）利益}}{\{(期首純資産合計 - 期首発行済優先株式数 \times \text{発行価額}) + (\text{期末純資産合計} - \text{期末発行済優先株式数} \times \text{発行価額})\} \div 2} \times 100$

## ■単体損益の状況

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2015年3月期比
<b>業務粗利益</b>	53,084	51,034	△2,049
国内業務粗利益	51,616	50,177	△1,439
資金利益	38,311	36,295	△2,015
役員取引等利益	10,146	8,497	△1,648
その他業務利益	3,159	5,383	2,224
国際業務粗利益	1,467	856	△610
資金利益	394	305	△88
役員取引等利益	160	157	△3
その他業務利益	911	393	△518
<b>経費 (除く臨時処理分)</b>	△38,669	△37,543	1,126
人件費	△18,044	△17,392	651
物件費	△18,507	△17,785	722
税金	△2,118	△2,365	△247
<b>一般貸倒引当金繰入額 (A)</b>	—	—	—
<b>実勢業務純益</b>	14,414	13,491	△923
<b>コア業務純益</b>	10,658	7,968	△2,690
<b>業務純益</b>	14,414	13,491	△923
うち債券関係損益	3,756	5,523	1,767
<b>臨時損益</b>	150	2,716	2,565
株式等関係損益	935	710	△225
株式等売却益	942	724	△217
株式等売却損	△6	△8	△2
株式等償却	—	△5	△5
不良債権処理額 (B)	△1,821	△1,153	667
与信費用戻入額 (C)	3,560	4,121	561
その他	△2,523	△962	1,561
<b>経常利益</b>	14,565	16,207	1,642
<b>特別損益</b>	△1,914	△190	1,723
固定資産処分損益	△105	△49	55
減損損失	△1,809	△141	1,667
<b>税引前当期純利益</b>	12,651	16,016	3,365
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	164	△2,260	△2,425
<b>法人税等調整額</b>	△1,569	8,549	10,118
<b>当期純利益</b>	11,245	22,305	11,059
<b>与信費用 (A)+(B)+(C)</b>	1,738	2,968	1,229
一般貸倒引当金繰入額	4,348	2,054	△2,293
貸出金償却	△1,664	△915	749
個別貸倒引当金繰入額	△2,278	393	2,671
その他不良債権処理額	△156	△238	△81
償却債権取立益	1,490	1,674	183

- (注) 1. 実勢業務純益：一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益  
 2. コア業務純益：債券関係損益、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益  
 3. 金額が損失又は減益の項目には△を付しております。

## ■2016年3月期の業績について

金融緩和の継続による預貸金利鞘の縮小を主因として資金利益が減少したことに加え、金融商品販売関連での役員取引等利益が減少したこと等により、業務粗利益は前期比20億円減少して510億円となりました。

また、経費 (除く臨時処理分) は、預金保険料率の低下等を主因として、前期比11億円減少して375億円となりました。この結果、実勢業務純益 (一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益) は前期比9億円減少の134億円となりました。

与信費用は、経済環境の落ち着きにより、新規の費用発生が比較的低水準であったことや、お客さまの経営改善支援等に一層の注力を行った結果、前期比12億円改善して29億円の戻入益となりました。

このほか、繰延税金資産の計上方法の見直し等を行った結果、税引前当期純利益は前期比33億円増加の160億円、当期純利益は前期比110億円増加の223億円となりました。